

新・こどもと健康

No.80

2023.9.1

令和5年秋開始接種は9月20日から
全年齢層、初回・追加接種もXBB.1.5対応1価ワクチンに

令和5年秋開始接種の期間は令和5年9月20日から令和6年3月31日になりました。8月25日堺市発送の接種券の書類には9～12月とありますが、修正されていません。初回接種(1・2・3回目)を終了している6か月から4歳の方、初回接種(1・2回目)を終了している5～11歳の方、初回接種(1・2回目)を終了している12歳以上の方全員が対象になります。なお、令和5年8月7日から9月19日まで5～11歳と12歳以上の初回接種で、従来型ではなく、それぞれの年齢用のオミクロン株BA.4-5対応2価を使用できるようになっています。令和5年9月20日以降は初回・追加接種いずれも各年齢用のXBB.1.5対応1価ワクチンを使用します。

	対象者		令和5年度		
				令和5年春開始接種 【R5.5.8～9.19】	令和5年秋開始接種 【R5.9.20～R6.3.31予定】
追加接種 (初回接種が済んでいる方)	12歳以上 注②③⑧⑨	65歳以上	【～R5.5.7】 令和4年秋開始接種(終了済)	○ (12歳以上用2価)	○ (12歳以上用 XBB.1.5対応1価で1回)
		基礎疾患あり 医療従事者等 上記以外の方 (健常な65歳未満)		×	
	5～11歳 注①②⑧⑨	基礎疾患あり	【R5.3.8～ R5.9.19】 (小児用2価) 令和4年秋開始接種を延長して実施	○ (小児用2価) 3か月以上で、もう1回可	○ (小児用 XBB.1.5対応1価で1回)
		上記以外(健常な小児)			
6か月～4歳 注①⑧⑨			設定なし	○ (乳幼児用 XBB.1.5対応1価で1回)	
初回接種	対象者		令和5年度		
			【R5.4.1～8.6】	【R5.8.7～9.19】	【R5.9.20～R6.3.31予定】
	12歳以上 注②③④⑦⑧⑨		12歳以上用、従来型、1・2回目、当科で不可	12歳以上用、2価、1・2回目、当科で可	12歳以上用、XBB.1.5対応1価、1・2回目、当科で可
	5～11歳 注①②④⑥⑦⑧⑨		小児用、従来型、1・2回目、当科で可	小児用、2価、1・2回目、当科で可	小児用、XBB.1.5対応1価、1・2回目、当科で可
6か月～4歳 注①⑤⑦⑧⑨		乳幼児用、従来型、1・2・3回目、当科で可		乳幼児用、XBB.1.5対応1価、1・2・3回目、当科で可	

注意点 ①6か月になる1日前から乳幼児用ワクチンを開始できます。既に初回接種を開始していたら、途中で5歳になっても乳幼児用ワクチンで3回目まで完了させてください。②5歳の誕生日の1日前から小児用ワクチンの対象になります。既に初回接種を開始していたら、途中で12歳になっても小児用ワクチンで2回目まで完了させてください。③12歳の誕生日の1日前から12歳以上のワクチンの対象になります。④令和5年8月7日から9月19日までは5～11歳、12歳以上とも、初回接種としてそれぞれの年齢用の2価ワクチンを使用することができるようになりましたが、9月20日以降はXBB.1.5対応1価ワクチンを初回接種に使用します。⑤令和5年9月20日以降は6か月～4歳もXBB.1.5対応1価ワクチンを初回接種に用いることとなります。⑥5～11歳で、従来型ワクチンで初回接種を開始している方が9月19日までに小児用2価ワクチンを接種する場合は、交接種として4週以上空ける必要があります。⑦9月20日をまたいだ初回接種の場合の間隔は未定です(交接種として4週以上?)。⑧初回接種が終わった方は、3か月以上空いて?令和6年3月31日までであれば、追加接種が可能になる可能性(乳幼児区分で4回目、小児区分以上で3回目)があります。⑨従来通り、インフルエンザワクチンは同時接種が可能です(施設次第)。他のワクチンはコロナワクチンからみて、前後2週間以上空けてください。

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に オンライン資格確認ができるようになっています

高齢者の成人用肺炎球菌ワクチンの助成は今年度中まで？

堺市では高齢者の肺炎球菌ワクチンを定期あるいは任意接種として、費用の一部助成を1人1回まで行ってきましたが、令和5年度までの時限的な文言になっています。助成が延長されるか不明であり、まだの方はご検討ください。

出典：堺市HP『高齢者の肺炎球菌感染症の予防接種について(更新日:2023年7月21日)』

60歳以上用RSウイルスワクチンが承認されました

こちらも高齢者の話になってしまいますが、乳幼児で年に1~2回大流行するRSウイルスは高齢者にも影響を与え、GSKなどの研究グループによる推計によると、国内でRSウイルスで入院する60歳以上の人は年に約63,000人、入院して亡くなる人がおよそ4000人といえます。8月28日の厚生労働省の専門部会はRSウイルス感染症のワクチン『アレックスビー』を、60歳以上を対象に使用を認めました。今後、厚生労働省の正式な承認を経て、製造・販売が開始される見込みです。3年に渡る臨床試験で下気道疾患に対する有効性は82.6%でした。

出典：NHK首都圏ナビHP『RSウイルスワクチン承認へ 対象は何歳から？期待される効果は？(2023年8月30日)』、A.Papi, et al. Respiratory Syncytial Virus Prefusion F Protein Vaccine in Older Adults. The New England Journal of Medicine, FEBRUARY 16, 2023, pp595-608, 2023

当科は大阪府の外来対応医療機関です

2023年2月から
の診療時間帯
(予告なく変更する
場合があります)

9:00~10:00	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
10:00~12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00~17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30~19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無
断キャンセルしないで
ください。
他の方の受診機会
を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、
気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	
R4.2/2~	10	3+0	30%	5/9~	18	2+2	20%	8/16~	20	11+6	59%	11/21~	19	1	5%
2/7~	21	10+4	56%	5/16~	10	1+2	25%	8/22~	27	8+2	34%	11/27~	18	5	28%
2/14~	11	4+0	36%	5/23~	14	3+0	21%	8/29~	10	4+2	50%	12/5~	14	3	21%
2/21~	5	3+0	60%	5/30~	8	0+0	0%	9/5~	18	3+2	25%	12/12~	19	3	16%
2/28~	21	13+1	64%	6/6~	9	1+0	11%	9/12~	26	3+1	15%	12/19~	17	6	35%
3/7~	14	4+3	41%	6/13~	3	0+0	0%	9/20~	7	2+1	38%	12/26~	7	1	14%
3/14~	14	6+2	50%	6/20~	10	1+0	10%	9/26~	23	6+1	29%	R5.1/2~	14	2	14%
3/21~	13	6+1	50%	6/27~	8	1+0	13%	10/3~	17	3+0	18%	1/9~	12	3	25%
3/28~	10	0+0	0%	7/4~	11	4+1	42%	10/11~	16	3+0	19%	1/16~	33	6	18%
4/4~	9	1+0	11%	7/11~	31	14+0	45%	10/17~	18	4+0	22%	4/24~	10	0	0%
4/11~	18	2+0	11%	7/18~	36	13+0	36%	10/24~	11	1+0	9%	5/1~	5	0	0%
4/18~	14	3+0	21%	7/25~	47	13+6	36%	10/31~	11	0+0	0%	5/8~	8	0	0%
4/25~	21	7+3	42%	8/1~	23	12+4	65%	11/7~	14	2+0	14%	5/15~	20	2	10%
5/2~	9	1+0	11%	8/8~	15	6+3	50%	11/14~	10	3+0	30%	5/22~	11	0	0%
												2/13~	3	0	0%
												2/20~	6	0	0%
												5/29~	4	0	0%
												計、平均	1,237	276+47	25%

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。当科では検査数は多くないものの、8月21日の週の陽性率が55%でした。新学期が始まり、どうなるでしょうか？

新型コロナウイルス感染症の定点報告、ピークアウト？それとも？

定点報告数

	大阪府	堺市	大阪府	堺市
5/8~	515	39	7/3~	2,330 263
5/15~	686	78	7/10~	3,036 346
5/22~	797	82	7/17~	4,028 467
5/29~	968	117	7/24~	4,399 480
6/5~	1,256	152	7/31~	4,093 534
6/12~	1,324	179	8/7~	3,078 446
6/19~	1,506	177	8/14~	3,576 384
6/26~	1,754	211	8/21~	3,744 455

大阪府で約300、堺市で約28医療機関

定点当たり



新型コロナウイルスの定点報告で、大阪府では7月第4週、堺市は8月第1週が数値的にはピークでした。一度減ったように見えていますが、お盆で報告するはずの医院等が休診であったためと推定します。

出典：大阪府感染症情報センターHP
『新型コロナウイルス感染症 発生状況
2023年 第19週~第34週』

9月・担当医の変更

5日(火) 赤澤→片桐